



2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 テックファームホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3625 URL <https://www.techfirm-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 永守 秀章
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 松本 圭太 TEL 03-5365-7885
 定時株主総会開催予定日 2024年9月26日 配当支払開始予定日 2024年9月27日
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績（2023年7月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|-------|-------|------|------|------|------|-----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年6月期 | 5,072 | △12.1 | 239 | 38.1 | 261 | 40.3 | 155 | — |
| 2023年6月期 | 5,770 | 4.6 | 173 | — | 186 | — | △48 | — |

(注) 包括利益 2024年6月期 139百万円 (—%) 2023年6月期 △44百万円 (—%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年6月期 | 22.00 | — | 7.0 | 6.4 | 4.7 |
| 2023年6月期 | △6.87 | — | △2.2 | 4.8 | 3.0 |

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 一百万円 2023年6月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年6月期 | 4,065 | 2,275 | 56.0 | 321.16 |
| 2023年6月期 | 4,032 | 2,166 | 53.7 | 305.71 |

(参考) 自己資本 2024年6月期 2,275百万円 2023年6月期 2,166百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年6月期 | △6 | 48 | △46 | 2,338 |
| 2023年6月期 | 263 | △495 | 560 | 2,320 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年6月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 | 35 | — | 1.6 |
| 2024年6月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 | 35 | 22.7 | 1.6 |
| 2025年6月期(予想) | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 | | 15.4 | |

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,800 | 14.3 | 400 | 67.2 | 390 | 49.4 | 230 | 47.5 | 32.46 |

(注) 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 2024年6月期 | 7,515,000株 | 2023年6月期 | 7,515,000株 |
| 2024年6月期 | 428,913株 | 2023年6月期 | 428,913株 |
| 2024年6月期 | 7,086,087株 | 2023年6月期 | 7,086,104株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| 連結損益計算書 | 8 |
| 連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、日経平均株価が34年ぶりに史上最高値を更新し、サービス、インバウンド消費の急回復が続いております。一方、欧米のインフレが長期化しており、大幅な円安による原材料価格の高騰、中国の経済成長の鈍化や地政学的リスクの高まりなど、外部環境の不確実性が企業収益や国内消費に与える影響が懸念されております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、ChatGPTに代表される生成AI技術やテクノロジーの急速な進化により、様々な業種で戦略の転換や新たな事業創出などIT投資需要の拡大が見込まれております。

当社グループは「最先端テクノロジーと創造力で、産業の変革をリードします。」をミッションとして掲げ、先端技術を基盤とした高付加価値ソリューションや業界特化型プラットフォームのサービス提案設計から開発、運用保守まで、ワンストップの支援体制を整え、顧客企業におけるDX推進の共創パートナーとして事業成長に取り組んでおります。また、創業以来、独立系のソフトウェア会社として様々な業種で蓄積したICTの知見とノウハウを活用し、デジタル化の活用によって事業の発展がより見込める産業にイノベーションを起こすことでITを通じた社会貢献に努め、グループの事業基盤、収益力の強化を目指しております。

当連結会計年度の経営成績は、売上高は5,072,509千円（前年同期比12.1%減）、営業利益は239,255千円（前年同期比38.1%増）、経常利益は261,000千円（前年同期比40.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は155,914千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失48,707千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、「農水産物輸出ソリューション」は化粧品、雑貨等の取扱い割合の増加や、海外消費者の反応や需要に関するデータの分析等、ITと最新の流通技術を組み合わせた独自の流通プラットフォームを展開していくことを明瞭にするため、セグメントの名称を「クロスボーダー流通プラットフォーム」に変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。前連結会計年度との比較・分析は、変更後の名称により行っております。

(ICTソリューション事業)

ICTソリューション事業においては、前連結会計年度の売上高が一部大型開発案件の早期検収の影響により想定以上に伸びていたことや、当該案件の計画変更に伴う開発体制の見直しにより減収となりましたが、プロジェクト進捗のモニタリングや品質チェック等、安定化に向けた取り組みの効果が現れており採算は改善しております。また、エンジニアの採用が順調に進んだ結果、社内リソースでの対応が増え外注費の抑制に繋がっております。引き続き大型案件に対応できる品質基準を定着させ、新たな案件受注のための体制づくりを進めてまいります。

注力分野である先端技術では、XR（クロスリアリティ）デバイスを活用した案件が伸長しております。XR技術に特化した専門展であるXR総合展への出展やプロトタイプ開発を通じた外部への情報発信により、さらなる新規顧客の獲得強化を図ってまいります。また、Web3.0時代の到来により、リアルとデジタルを繋ぐサービスの重要性が高まる中、AIを駆使した最先端技術で3Dを生成し、顧客が展開するメタバースやECサイトなどのバーチャル空間での活用を支援してまいります。

上記により、当連結会計年度のICTソリューション事業の売上高は4,763,214千円（前年同期比12.3%減）、セグメント利益は789,256千円（前年同期比2.6%減）となりました。

(クロスボーダー流通プラットフォーム事業)

クロスボーダー流通プラットフォーム事業においては、ITと最新の流通技術を組み合わせ、アジアと日本をつなぐ越境流通プラットフォームの展開を目指しております。海外販路開拓支援サービス「コネクトアジア」では地方公共団体や地方銀行と連携し、東南アジアでの事業展開を目指す日本国内の生産者・食品メーカーとの商談を進めております。プラットフォームサービスの利用企業数は着実に増加しておりますが、東南アジア側での進出受け皿となる拠点作りが遅れ、流通量を大きく伸ばすことは出来ませんでした。

当連結会計年度では、顧客商材の体験・ショールームとしての機能を担う拠点として、シンガポール最大の繁華街、オーチャードロードに直営店舗をオープンし、店舗のブランディング含め基盤作りへの投資を進めております。販売に加え、試食・試飲イベントの開催を実施し、より多くの顧客とのタッチポイントを創出することでデータ収集を進めるほか、集めたデータの分析及びその活用、テスト販売・商談後のフォローアップなど、シンガポールの顧客ニーズに合わせた商材の提案を行い「コネクトアジア」のリポート率を高めてまいります。

上記により、当連結会計年度のクロスボーダー流通プラットフォーム事業の売上高は309,294千円（前年同期比9.6%減）、セグメント損失は58,102千円（前年同期はセグメント損失50,761千円）となりました。

② 今後の見通し

生成AI技術の著しい進化は様々な業界に革命的な変化をもたらし、単なる自動化を超え、予測分析、パーソナライズされた顧客体験、複雑なデータ処理が可能となり、その適用範囲と影響力が飛躍的に拡大しております。このような状況の下、先端技術・テクノロジーを駆使するICTソリューション事業では、顧客ビジネスへの深い理解を必要とするコンサルティング力の強化や保有するデータの分析、課題抽出から解決策の提案により、多くの新しいサービスの創出を支援してまいりました。引き続きIT投資需要は継続していくことが見込まれますが、業界の競争が激化する中で大手SIerが提供する標準的なソリューションに加え、より柔軟で迅速に対応できるサービスを提供することで差別化を図ってまいります。今後もXRデバイス、生成AI等の先端技術を活用した開発案件の実績を積み重ね、テックファームの強みとして広くアピールすることで新規顧客の獲得に繋げ安定的な収益の確保に努めてまいります。また、あらゆる業種でエンジニアの需要が高まり採用競争が続いていますが、会社のブランディング強化による知名度の向上やキャリアに応じた教育制度を整備し、技術力の底上げと組織全体のパフォーマンス向上を図ってまいります。

自社サービス提供型ビジネスであるクロスボーダー流通プラットフォーム事業では、「Find More Japan -日本再発見を加速する」をミッションとして、ITと最新の流通技術を組み合わせ、アジアと日本をつなぐ越境流通プラットフォームの展開を目指しております。

海外販路開拓をサポートする「コネクトアジア」は中小生産者から大手食品メーカーまで幅広く関心をいただき取引社数を増やし、今後も地方自治体・経済団体や金融機関との連携を進めてまいります。主要販売市場であるシンガポールでは、直営店舗を開設し、連携する小売店も含めた顧客とのタッチポイントをさらに増やすことで、集積される流通データの分析に基づく将来の予測を、日本の顧客候補及びシンガポールの小売店に対して提供してまいります。

そして、グループとして売上高100億円を目指す過程において、開発リソースを強化するエンジニアの増強や、クロスボーダー流通プラットフォーム事業に続くデジタル投資によるイノベーションが見込める領域においてはM&A、資本業務提携を検討し、事業規模の拡大、収益構造の変革に取り組んでまいります。

以上により、2025年6月期の連結業績につきましては、売上高5,800百万円、営業利益400百万円、経常利益390百万円、親会社株主に帰属する当期純利益230百万円を見込んでおります。

なお、当社グループは年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）につきましては、記載を省略しております。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、業況の変化等により予想値と異なる可能性があります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ49,180千円増加し、3,620,683千円となりました。この主な要因は、有価証券が99,490千円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が102,265千円、その他流動資産が28,967千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21,055千円減少し、439,234千円となりました。この主な要因は、投資その他の資産が26,231千円減少したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ4,431千円増加し、5,447千円となりました。

以上の結果、当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ32,556千円増加し、4,065,365千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ577,347千円減少し、1,258,306千円となりました。この主な要因は、未払法人税等が21,277千円、賞与引当金が23,046千円増加したものの、1年内償還予定の社債が500,000千円、損害補償損失引当金が130,100千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ500,421千円増加し、531,296千円となりました。この主な要因は、社債が500,000千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ76,926千円減少し、1,789,603千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ109,483千円増加し、2,275,762千円となりました。この主な要因は、配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が120,483千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17,840千円増加し、2,338,579千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果使用した資金は、6,857千円（前連結会計年度は263,224千円の収入）となりました。

この主な内訳は、税金等調整前当期純利益254,861千円による資金の増加、損害補償損失引当金の減少額130,100千円、売上債権及び契約資産の増加額102,784千円、法人税等の支払額23,379千円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果得られた資金は、48,884千円（前連結会計年度は495,339千円の支出）となりました。

この主な内訳は、有価証券の売却による収入100,000千円による資金の増加、投資有価証券の取得による支出41,369千円による資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は、46,657千円（前連結会計年度は560,978千円の収入）となりました。

この主な内訳は、配当金の支払額35,357千円による資金の減少であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年6月30日) | 当連結会計年度 (2024年6月30日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,320,739 | 2,338,579 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 670,951 | 773,217 |
| 有価証券 | 500,000 | 400,509 |
| 原材料及び貯蔵品 | 247 | 343 |
| その他 | 176,309 | 205,277 |
| 貸倒引当金 | △96,745 | △97,243 |
| 流動資産合計 | 3,571,502 | 3,620,683 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 109,811 | 92,029 |
| 減価償却累計額 | △99,011 | △78,724 |
| 減損損失累計額 | — | △1,678 |
| 建物及び構築物 (純額) | 10,800 | 11,626 |
| 機械装置及び運搬具 | 3,397 | 3,774 |
| 減価償却累計額 | △2,377 | △2,641 |
| 減損損失累計額 | △1,019 | △1,132 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | — | — |
| 工具、器具及び備品 | 79,534 | 72,912 |
| 減価償却累計額 | △68,375 | △58,021 |
| 減損損失累計額 | △3,849 | △8,574 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 7,310 | 6,316 |
| リース資産 | 24,178 | 27,994 |
| 減価償却累計額 | △14,764 | △16,761 |
| リース資産 (純額) | 9,414 | 11,232 |
| その他 | — | 1,980 |
| 有形固定資産合計 | 27,524 | 31,156 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 5,751 | 7,294 |
| 無形固定資産合計 | 5,751 | 7,294 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 98,720 | 128,161 |
| 差入保証金 | 184,967 | 179,859 |
| 繰延税金資産 | 140,636 | 90,319 |
| その他 | 3,371 | 3,124 |
| 貸倒引当金 | △682 | △682 |
| 投資その他の資産合計 | 427,014 | 400,782 |
| 固定資産合計 | 460,290 | 439,234 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 1,015 | 5,447 |
| 繰延資産合計 | 1,015 | 5,447 |
| 資産合計 | 4,032,808 | 4,065,365 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年6月30日) | 当連結会計年度 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 158,310 | 144,440 |
| 短期借入金 | 600,000 | 600,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 500,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,428 | 1,428 |
| リース債務 | 1,803 | 2,508 |
| 未払金 | 152,522 | 153,330 |
| 未払法人税等 | 26,221 | 47,499 |
| 賞与引当金 | 99,001 | 122,047 |
| 製品保証引当金 | 36,900 | 31,000 |
| 受注損失引当金 | — | 14,900 |
| 損害補償損失引当金 | 130,100 | — |
| その他 | 129,367 | 141,152 |
| 流動負債合計 | 1,835,654 | 1,258,306 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,265 | 837 |
| 社債 | — | 500,000 |
| リース債務 | 8,636 | 9,949 |
| 資産除去債務 | 19,973 | 20,510 |
| 固定負債合計 | 30,875 | 531,296 |
| 負債合計 | 1,866,529 | 1,789,603 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 資本剰余金 | 1,494,271 | 1,499,462 |
| 利益剰余金 | 88,175 | 208,659 |
| 自己株式 | △434,362 | △434,362 |
| 株主資本合計 | 2,148,083 | 2,273,759 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,399 | 11,708 |
| 為替換算調整勘定 | △203 | △9,704 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,195 | 2,003 |
| 純資産合計 | 2,166,279 | 2,275,762 |
| 負債純資産合計 | 4,032,808 | 4,065,365 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日) |
|---|--|--|
| 売上高 | 5,770,316 | 5,072,509 |
| 売上原価 | 4,301,696 | 3,539,150 |
| 売上総利益 | 1,468,619 | 1,533,358 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬 | 120,949 | 136,889 |
| 給料及び手当 | 480,105 | 462,079 |
| 賞与引当金繰入額 | 25,291 | 29,406 |
| 貸倒引当金繰入額 | 921 | 374 |
| その他 | 668,100 | 665,353 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,295,367 | 1,294,103 |
| 営業利益 | 173,251 | 239,255 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 996 | 984 |
| 受取配当金 | 1,242 | 1,998 |
| 為替差益 | 1,946 | 26,069 |
| 助成金収入 | 2,201 | 736 |
| 貸倒引当金戻入額 | 8,317 | — |
| その他 | 3,420 | 757 |
| 営業外収益合計 | 18,125 | 30,547 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,339 | 5,431 |
| 支払手数料 | 1,770 | 2,088 |
| 社債発行費償却 | 1,107 | 1,107 |
| その他 | 153 | 174 |
| 営業外費用合計 | 5,371 | 8,801 |
| 経常利益 | 186,006 | 261,000 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 92 |
| 減損損失 | — | 6,045 |
| 損害補償損失引当金繰入額 | 130,100 | — |
| 損害補償損失 | 122,998 | — |
| 特別損失合計 | 253,098 | 6,138 |
| 税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△) | △67,092 | 254,861 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 16,011 | 45,677 |
| 法人税等調整額 | △34,395 | 53,270 |
| 法人税等合計 | △18,384 | 98,947 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △48,707 | 155,914 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) | △48,707 | 155,914 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 当期純利益又は当期純損失(△) | △48,707 | 155,914 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,515 | △6,690 |
| 為替換算調整勘定 | △3,033 | △9,501 |
| その他の包括利益合計 | 4,482 | △16,192 |
| 包括利益 | △44,225 | 139,722 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △44,225 | 139,722 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|---------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,000,000 | 1,489,079 | 172,313 | △434,335 | 2,227,057 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △35,430 | | △35,430 |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | | | △48,707 | | △48,707 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | 5,191 | | | 5,191 |
| 自己株式の取得 | | | | △27 | △27 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 5,191 | △84,138 | △27 | △78,974 |
| 当期末残高 | 1,000,000 | 1,494,271 | 88,175 | △434,362 | 2,148,083 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|----------|-------------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 10,884 | 2,829 | 13,713 | 2,240,771 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △35,430 |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) | | | | △48,707 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | 5,191 |
| 自己株式の取得 | | | | △27 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 7,515 | △3,033 | 4,482 | 4,482 |
| 当期変動額合計 | 7,515 | △3,033 | 4,482 | △74,492 |
| 当期末残高 | 18,399 | △203 | 18,195 | 2,166,279 |

当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|--------------------------|-----------|-----------|---------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,000,000 | 1,494,271 | 88,175 | △434,362 | 2,148,083 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △35,430 | | △35,430 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 155,914 | | 155,914 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | 5,191 | | | 5,191 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 5,191 | 120,483 | — | 125,675 |
| 当期末残高 | 1,000,000 | 1,499,462 | 208,659 | △434,362 | 2,273,759 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|--------------------------|------------------|----------|-------------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 18,399 | △203 | 18,195 | 2,166,279 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △35,430 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | 155,914 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | 5,191 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | △6,690 | △9,501 | △16,192 | △16,192 |
| 当期変動額合計 | △6,690 | △9,501 | △16,192 | 109,483 |
| 当期末残高 | 11,708 | △9,704 | 2,003 | 2,275,762 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日) |
|----------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△) | △67,092 | 254,861 |
| 減価償却費 | 11,833 | 9,895 |
| 減損損失 | — | 6,045 |
| 固定資産除却損 | — | 92 |
| 株式報酬費用 | 5,191 | 5,191 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △8,995 | 343 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 6,007 | 23,046 |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少) | △7,500 | △5,900 |
| 受注損失引当金の増減額 (△は減少) | △183,400 | 14,900 |
| 損害補償損失引当金の増減額 (△は減少) | 130,100 | △130,100 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,239 | △2,982 |
| 助成金収入 | △2,201 | △736 |
| 支払利息 | 2,339 | 5,431 |
| 為替差損益 (△は益) | 0 | △31 |
| 損害補償損失 | 122,998 | — |
| 売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加) | 428,457 | △102,784 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 749 | △11,324 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △124,129 | △12,237 |
| その他 | △40,492 | △34,881 |
| 小計 | 271,625 | 18,829 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,239 | 2,416 |
| 利息の支払額 | △2,416 | △5,460 |
| 法人税等の還付額 | 114,457 | 0 |
| 法人税等の支払額 | △1,885 | △23,379 |
| 助成金の受取額 | 2,201 | 736 |
| 損害補償損失の支払額 | △122,998 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 263,224 | △6,857 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | △500,000 | — |
| 有価証券の売却による収入 | — | 100,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,254 | △12,277 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △4,070 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △6,825 | △41,369 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 2,285 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 5,291 | — |
| 差入保証金の回収による収入 | 7,535 | 7,243 |
| 差入保証金の差入による支出 | △35 | △2,806 |
| その他 | △51 | △119 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △495,339 | 48,884 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 600,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,428 | △1,428 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △681 | △2,220 |
| 社債の発行による収入 | — | 494,460 |
| 社債の償還による支出 | — | △500,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △27 | — |
| 配当金の支払額 | △35,280 | △35,357 |
| その他 | △1,603 | △2,111 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 560,978 | △46,657 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 10,023 | 22,470 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 338,886 | 17,840 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,981,852 | 2,320,739 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,320,739 | 2,338,579 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、持株会社である当社が、包括的な戦略の立案及び全般管理を行い、各事業会社はその経営戦略に基づき、独自の事業活動を展開しております。

当社グループの報告セグメントは、先端技術を活用した業務システム及び基幹システム等の受託開発・運用保守等を行う「ICTソリューション」事業、食品及び美容品等の海外輸出、卸売、当該輸出に関するコンサルティング業務等を行う「クロスボーダー流通プラットフォーム」事業の2つを報告セグメントとしております。

当連結会計年度より、従来「農水産物輸出ソリューション」としていた報告セグメントの名称を「クロスボーダー流通プラットフォーム」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計方針に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1、2 | 連結財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|-----------------------|-----------|----------------|---------------------|
| | ICTソリューション | クロスボーダー 流通プラットフォーム | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,428,256 | 342,059 | 5,770,316 | — | 5,770,316 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,428,256 | 342,059 | 5,770,316 | — | 5,770,316 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 810,723 | △50,761 | 759,962 | △586,710 | 173,251 |
| セグメント資産 | 1,628,585 | 93,214 | 1,721,799 | 2,311,009 | 4,032,808 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 9,850 | — | 9,850 | 1,982 | 11,833 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 1,408 | — | 1,408 | 10,434 | 11,842 |

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△586,710千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント資産の調整額2,311,009千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主として当社(持株会社)の管理部門に係る資産であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1、2 | 連結財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|-----------------------|-----------|----------------|---------------------|
| | ICTソリューション | クロスボーダー 流通プラットフォーム | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,763,214 | 309,294 | 5,072,509 | — | 5,072,509 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,763,214 | 309,294 | 5,072,509 | — | 5,072,509 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 789,256 | △58,102 | 731,153 | △491,898 | 239,255 |
| セグメント資産 | 1,816,930 | 107,812 | 1,924,743 | 2,140,622 | 4,065,365 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 6,968 | 232 | 7,201 | 2,693 | 9,895 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 2,064 | 6,278 | 8,343 | 6,816 | 15,159 |

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△491,898千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント資産の調整額2,140,622千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主として当社(持株会社)の管理部門に係る資産であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日) |
|-------------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 305.71円 | 321.16円 |
| 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) | △6.87円 | 22.00円 |

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日) |
|--|--|--|
| 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円) | △48,707 | 155,914 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円) | △48,707 | 155,914 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 7,086,104 | 7,086,087 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。